



2018年5月28日

株式会社アドバンスト・メディア

岐阜車体工業の車両監査業務に 音声認識キーボード入力システム「AmiVoice® Keyboard」が 採用されました

～作業時間短縮と作業ミスの低減を実現。業務時間を3分の2に削減～

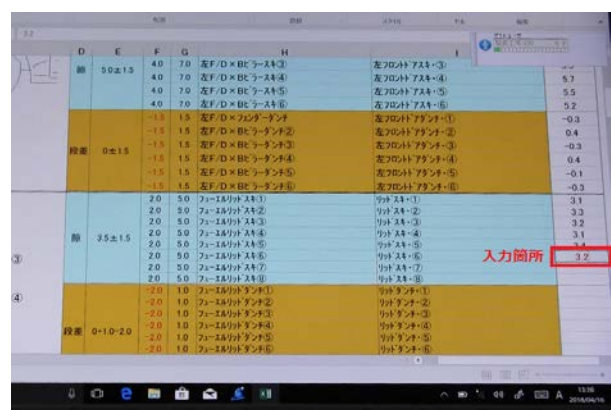
株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の日本語109キーボードを声でコントロールできる、音声認識キーボード入力システム「AmiVoice Keyboard（アミボイス キーボード）」が、岐阜車体工業株式会社（本社：岐阜県各務原市、代表取締役社長：川田康夫、以下 岐阜車体工業）の車両監査業務に採用されました。

岐阜車体工業は、トヨタ車体グループの完成車メーカーとして、トヨタのハイエース、コースターの生産をしており、スマート工場化に向け積極的にITを活用しています。

この度、車両監査業務にて音声認識キーボード入力システム「AmiVoice Keyboard」が導入されました。

車両監査業務は従来、人による計測→紙への転記→PCへの入力作業を行っておりましたが、計測する箇所が多く紙への転記とPCへの入力に時間を費やしていました。この時間を低減し入力ミスを無くするために音声認識システムが導入されました。

計測する箇所を作業者にアナウンスし、声で数値をPCへ入力します。作業の手を止めることなくハンズフリーで入力ができるので、作業速度・入力速度の双方で効率化が図れます。また、声出し確認ができるため作業ミス防止にもつながります。2月から開始した導入では、従来の手入力と比較し、3分の2に業務時間の削減を実現いたしました。



アドバンスト・メディアでは、今後も音声認識を活用したソリューションを提供し、各種システムの作業効率の向上や、お客様の簡単・安心・便利に貢献していきます。

【AmiVoice Keyboard 概要】

キーボード入力の代わりに、音声認識技術を活用することで、キーボード上の数字キー・英字キー・ファンクションキー・コントロールキーなど、全てのキー操作を声で行う事ができるソフトウェアです。声

だけで、キーボード入力が完結するため、作業の手を止めることなく、ハンズフリー・アイズフリーで、効率的なデータ入力を行う事が可能です。インターネットを使用しないスタンドアロン形式の音声認識エンジンを使用しています。音声認識エンジンには、ディープラーニング技術を実装しており、高騒音環境下でも高い認識率を誇ります。

HP: <https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-keyboard>

以上

【会社概要】

<株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-4 サンシャインシティ文化会館 6 階

U R L : <http://www.advanced-media.co.jp/>

設 立 : 1997 年 12 月

資 本 金 : 49 億 7,309 万円 (15,929,405 株) (2018 年 3 月末現在)

事 業 内 容 :
◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営管理本部 広報チーム	STF 事業部
TEL : 03-5958-1307	TEL : 03-5958-1522
FAX : 03-5958-1032	FAX : 03-5958-1033
E-mail : press@advanced-media.co.jp	E-mail : info@advanced-media.co.jp